

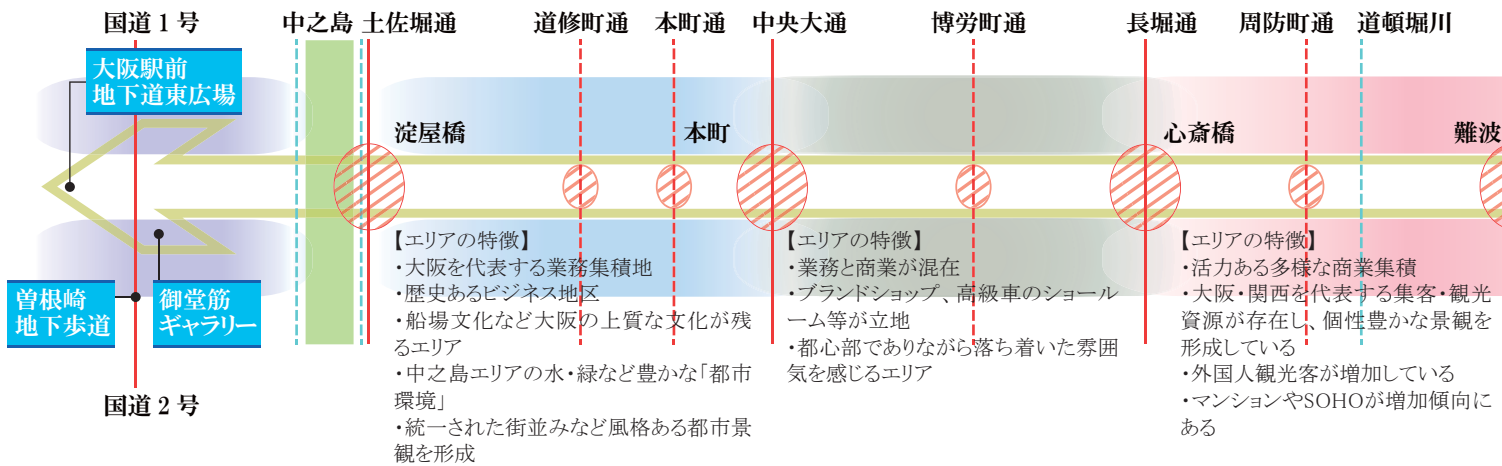
6. ビジョン実現に向けたファーストステップ

(1) 空間整備の基本方針

側道歩行者空間化を進めていく上で、「移動・モビリティ」「利活用」「空間の質」「空間構成」といった重要な4つの観点における基本方針を設定します。

移動・モビリティ	利活用	空間の質
①人中心の考え方のもと多様なモビリティが共存 - 歩きやすい、歩きたくなる空間へ - ゆずりあい、共有される空間へ	②ひとを引き立たせる「まちとつながる場」へ - 御堂筋が「まち」とつながる 「ひと」が「まち」とつながる - 御堂筋を舞台に、「ひと」と「ひと」がつながる	③都市の顔にふさわしい高質な空間の実現 - 御堂筋・沿道の歴史を感じる空間 - 大阪ものづくり文化を感じる空間 - 素材の質感を感じるひとにやさしい空間 - 環境に配慮した空間 - 維持管理を考慮した持続的な空間
インフラ・基盤施設の再編	公民連携による持続的な仕組みづくりを通して実現をめざす	

(2) 空間整備のゾーニング



【エリアテーマと整備イメージ】



《通行ゾーン》歩行者と自転車が共存する空間（歩行者を優先としながら利便性を維持）

《滞留ゾーン》ビジネスワーカー等が休息・交流できる空間

《利活用ゾーン》ビジネスワーカーを対象にした展示会・プロモーション等ができる空間

《多機能ゾーン》落ち着いた雰囲気を演出する緑や休息できる空間



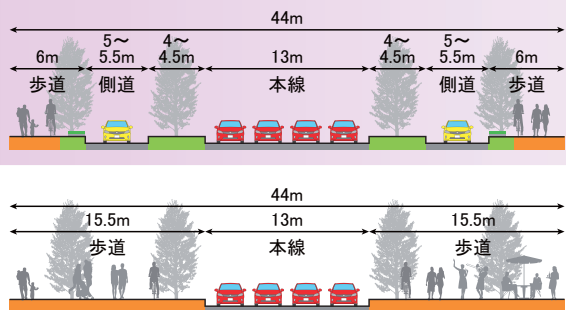
《通行ゾーン》歩行者と自転車の通行空間を分離（高質商業への来訪者等の通行機能を重視）

《滞留ゾーン》高質商業等への来訪者やビジネスワーカーが落ち着いて休息でき、緑を感じることができる空間

《利活用ゾーン》高質商業がプロモーション等を行うことができる空間

《多機能ゾーン》落ち着いた雰囲気を演出する緑や休息できる空間

現況



側道歩行者空間化

空間構成

④統一感、風格を感じ

イチョウを際立たせる空間づくり

- イチョウの存在感を引き立たせる空間
- イチョウの魅力を高める空間

断面イメージ

※寸法は概ねの距離を記述

インフラ・基盤施設の再編

千日前通

なんば駅前広場

御堂筋共同溝立坑広場

側道部分を歩行者空間にすることで、新たに滞留・利活用空間を創出するとともに、公民連携による利活用を進めます。滞留・利活用空間の設えに関しては、各エリアテーマに沿ったデザインとします。

エリアテーマ 「楽しく歩ける賑わい商業エリア」



《通行ゾーン》歩行者と自転車の通行空間を分離(増加する歩行者の通行機能を重視しゆったりとした空間を確保)

《滞留ゾーン》観光客が落ち着いて休息でき、周辺観光情報を知ることができる空間

《利活用ゾーン》周辺観光の情報発信を行うことができる空間

《多機能ゾーン》落ち着いた雰囲気演出する緑や休息できる空間

大阪駅前地下道東広場の改修

東広場は、梅田エリアの主要駅や地下街等と接続し、また、「うめきた」と「御堂筋」を結ぶ、多くの歩行者が利用する極めて重要な地下空間です。周辺地下空間の耐震化が進む中で、対策未実施の東広場の抜本的な改修について、隣接する阪神百貨店の建替工事に合わせて実施します。



- 隣接する阪神百貨店の建替えや、うめきた2期のまちびらきの時期に合わせて、2023年度の地上部(道路復旧)の概成をめざします。

曽根崎地下歩道・御堂筋ギャラリーの有効活用

都心・梅田における貴重なオープンスペースとして、まちのにぎわい形成に寄与する活用が求められます。



- 平成29年8月に曽根崎地下歩道(写真上)で行われたシンポジウムでは、オープンセッションとして地域でにぎわいの創出に取り組んでいる有識者、学生、エリアマネジメント団体などの方々とともに、その有効活用について議論が行われました。これらの意見を踏まえ、今後、より明るく快適な空間へと改善を図ります。
- 御堂筋ギャラリー(写真下)は、御堂筋完成60周年を記念して整備された憩いの空間です。平成29年12月には地域の方々や企業、市民ボランティアの方々と北区役所との協働によるアート作品展「御堂筋 FAN FUN」が開催されました。

なんば駅周辺における空間再編(なんば駅前広場)

関西国際空港に直結する主要交通結節点であり、多様な商業施設や観光資源が集積するなんば駅周辺の道路空間において、公民連携により車中心の空間から人中心の空間へと再編し、新たな憩いの空間や魅力ある都市空間の創出を図るとともに、駅前空間を拠点とした周辺エリアへの回遊性の向上を図ります。



- 平成28年11月に計画の実現性を検証するとともに、関係者で将来像を共有することを目的とした社会実験を実施しています。

(仮称)JUNGLE namba(御堂筋共同溝立坑広場)

御堂筋の南端、元町2丁目交差点での御堂筋共同溝立坑工事が完成することに伴い、立坑跡地の空間活用について公募型プロポーザル方式により提案していただきました。



- 緑の中で憩える遊び場としてのバーベキューブースやオープンカフェなどを常設。難波地域の新たな魅力スポットとしてまちのにぎわい向上に期待が持たれます。

First step

(3) 将来ビジョンを推進する公民連携体制づくり

将来ビジョンを推進していく上では、公民相互でめざすべきビジョンを共有するとともに、公民連携の体制構築及び役割分担を明確にし、総合的な観点でビジョンを推進していく仕組みづくりをしていく必要があります。



公共主体の主な取組み

《社会基盤整備・維持管理》

側道歩行者空間化に伴う影響検証

- 側道閉鎖時における渋滞や荷捌き、周辺道路への影響などを社会実験等により慎重に検証のうえ、側道の歩行者空間化を進めます。



社会実験イメージ

《制度整備》

民間が活動しやすい制度整備

- 都市における道路空間利用のニーズの高まりなどから、道路空間を活用した民間活動を推進する制度が整いつつあり、都市の魅力向上、賑わい・交流の場の創出のための特例制度の活用や民間の新たな担い手によるまちづくりが各地で進んでいます。
- 民間が活動しやすい制度整備に取り組み、民間主体によるまちづくり活動を促進します。



グランフロント大阪の道路上でのオープンカフェ(左)とエリアマネジメント広告(右)



《制度整備》

御堂筋イチョウ並木募金(仮称)の創設

- これまで以上に、イチョウ並木の良好な生育と美しさを維持していくとともに、市民や民間の方々にも広く関心を持っていただくことを目的として御堂筋イチョウ並木募金(仮称)の創設に取り組みます。



御堂筋のイチョウ

《情報発信》

※Memorandum of Understanding(基本合意書)

姉妹ストリート協定(MOU*)の推進

- 御堂筋を通じて魅力的なまちづくりを展開していくためには、多様な知識と経験を持つ海外大都市のメインストリートとの連携を強化していくことが重要です。
- そのため、御堂筋と類似のメインストリートを所有する海外大都市と姉妹ストリート協定を締結し、人材交流、技術交流などの相互連携を行い、道路に関する知識と経験を共有し、各々の今後の展開の示唆を得るとともに、御堂筋を世界に向けて情報発信します。



将来の連携イメージ

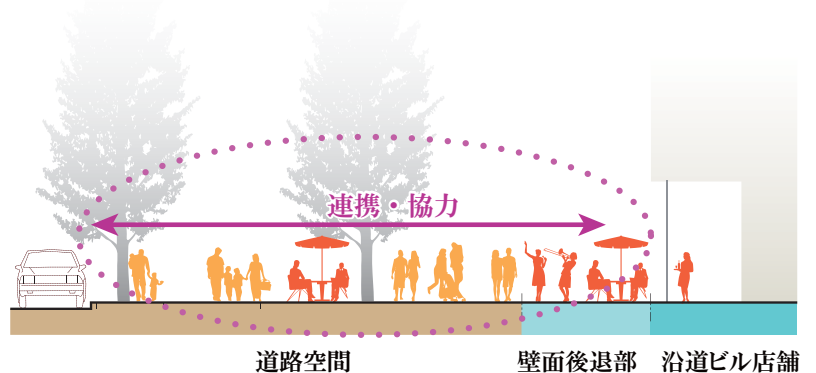
公民連携による主な取組み

《空間再編に関する機運醸成》

- 将来ビジョンを推進していく上では、市民やステークホルダーの理解、協力が必要となります。そのためには、公民連携による効果的なプロモーション活動を展開し、空間再編に関する機運醸成を図っていくことが求められます。

道路空間と沿道建物とが一体となった賑わい形成

- 都市魅力の向上、賑わい・交流の場を創出するためには、沿道ビルや店舗との連携が重要となります。なかでも、壁面後退部と道路空間を一体的に活用することで、様々な利用に対応できるオープンスペースが生み出されることになります。
- こうしたオープンスペースを活用した継続的なまちづくりを進めていくため、BID 制度をはじめとした公民連携による事業費調達制度などの導入を検討します。



御堂筋完成 80 周年記念事業の発展的継続

- 御堂筋完成 80 周年記念事業では、御堂筋案内マップによる観光客をはじめとした来訪者へのホスピタリティの提供や、御堂筋の街並み写真展フォトコンテストによる御堂筋の魅力の再発見など、公民連携によるプロモーション活動を通じて、空間再編に関する機運醸成を促す取組みを実施しました。
- こうした取組みを民間主体により発展的・継続的に実施し、御堂筋の空間再編に関する機運醸成を図っていきます。



御堂筋の街並み写真展
フォトコンテスト

公民連携によるプラットフォームの構築

- 御堂筋完成 80 周年記念事業を一過性のものではなく、御堂筋将来ビジョンを早期に実現していくための機運醸成、情報発信、運営支援を目的とした民間主体のサポーター事業を検討しています。
- こうした民間主体によるサポーター事業を公民連携で推進することで、御堂筋の道路空間再編に関する機運醸成を図ります。

民間主体の主な取組み

《高質な維持管理》

民間による維持管理

- 清掃活動をはじめとしたきめ細やかな日常の維持管理活動とともに、花植え活動などに取組み、美しい街並みを創出します。



御堂筋沿道一斉清掃



沿道ビル壁面後退部で
開催されているマルシェ

《体制づくり・制度活用》

制度活用の受け皿となる体制づくりとまちづくり活動の推進

- 道路空間で民間がまちづくり活動を行う制度が整いつつありますが、こうした制度を活用することにより、活動の拡大化や継続性が期待されます。制度を活用するため、まず受け皿となる体制づくりを行います。

《情報発信》

道路空間を活用したイベントなどの開催

- 現在、沿道ビル壁面後退部などにおいて、マルシェやオープンカフェなど、民間主体の取組みが行われていますが、道路空間も含めた内容に拡大するなど、現地の強みを活かした情報を発信していきます。

《大阪の公民連携事例》

うめきた先行開発区域 ～公民連携による公共空間の整備・管理・活用～

うめきた地区では、公民連携により一体的でより質の高い公共空間の整備が行われています。また、タウンマネジメント組織「一般社団法人グランフロント大阪 TMO」により、都市再生整備計画の提案が行われ、都市再生特別措置法等に基づく制度を活用した公共空間の一体的管理・運営に取り組むとともに、国家戦略特区を活用した国際的な活動拠点の形成に資する道路空間でのイベントなどに取り組んでいます。

7. 御堂筋完成80周年記念事業

(1) シンポジウム

歩いて楽しめるまちとするためのメインストリートのあり方、賑わい空間の創出のあり方など、道路空間を通じたこれからのまちづくりをテーマとして、ディスカッション形式によるシンポジウムを、春、夏、秋の3回にわたり開催しました。

春のシンポジウム

「歩いて楽しめるまちへ！京阪神3市長が語る」



【内容】
基調講演／パネルディスカッション

夏のシンポジウム

道路空間を活用した賑わいの創出



【内容】
語りと映像と音楽の生演奏による「語りベシアター御堂筋物語」
対談／オープンセッション

秋のシンポジウム

世界最新モデルとなる人中心のストリートへ！



【内容】
御堂筋完成80周年記念事業事業報告／パネルディスカッション

(2) ワークショップ

御堂筋に関わりの深い6つのテーマを設定し、各種テーマ別に今後の取組み方策を共有するとともに、市民をはじめとした多様な意見を確認することを目的としたワークショップを開催しました。

ワークショップ名称	ワークショップの目的
人中心の道路づくり	道路空間再編にあたっての課題を抽出し、今後の進め方を考える
道路における公民連携	道路空間利活用事例の情報発信や道路空間等の利活用のあり方を踏まえ、利活用主体や住民、一般道路利用者等からの意見を取りまとめ、御堂筋の将来像につなげる
安全で楽しい自転車利用	市民・利用者目線からの自転車利用環境の創出について考える
地下空間の利活用	高度な地下空間利用についての情報発信と、地下空間の利活用に関する諸課題等について考える
世界に誇るイチョウ並木の育成	長きにわたり守られてきたイチョウ並木を知り、これからの御堂筋の緑空間のあり方を考える
水の都・大阪 ～道頓堀川を中心に～	道頓堀川を中心とした水の都・大阪の歴史・魅力等を情報発信し、水辺利用者等から意見を聞き、未来につなげる



道路における公民連携ワークショップ



安全で楽しい自転車利用ワークショップ



地下空間の利活用ワークショップ



世界に誇るイチョウ並木の育成 ワークショップ

80th anniversary

(3) 御堂筋の未来をビジュアル化する社会実験

「人中心のストリート」をテーマとして、御堂筋の未来がどのようなものであるべきか、また市民ニーズがどのような内容であるのかを具体的に確認するため、御堂筋の未来をビジュアル化する社会実験を行いました。

御堂筋チャレンジ

御堂筋千日前通以南モデル区間における「可視化社会実験」

【提案団体】 ミナミまち育てネットワーク



- モデル整備により拡張された歩行者・自転車通行空間を活用し、さらに魅力ある空間としての活用の可能性について検証することを目的として社会実験を実施しました。
- 地元地域を中心に組織された「御堂筋沿道・千日前通以南モデル区間整備協議会」が主体となって取組まれました。



(仮称)御堂筋パークレット社会実験

にぎわいと憩い空間のあり方などを検証するための社会実験

【提案団体】 (一社)御堂筋まちづくりネットワーク



- パークレットとは、道路空間を活用してウッドデッキやベンチを配置し、にぎわいや憩いの空間の創出をめざし設置する休憩施設で、アメリカをはじめとした都市で取組まれています。
- 車道の一部や歩道の植栽帯の活用により創出された空間は、訪れる方々の憩いの場として利用されています。



みんなの芝生広場・未来へ向けたメッセージ

御堂筋オータムパーティー2017～1日限定の芝生広場が登場

【連携団体】 御堂筋パーティー2017実行委員会事務局・中央区

- カラフルな遊具を配した芝生広場を設置したところ、多くの家族連れを中心に好評を博しました。
- また、未来の御堂筋で求める楽しみ方をお尋ねするパネルアンケートには、子どもから大人まで幅広い世代の方にご参加いただきました。



(参加者数 859 名)

(4) 御堂筋を華やかに演出する取組み

完成 80 周年という記念すべき年を市民の皆様とともに祝い、そして、御堂筋における取組みを広く一般に周知することを目的として、地域や企業、各種団体による協力のもとプロモーション活動を行いました。

御堂筋の街並み写真展フォトコンテスト

御堂筋の魅力を再発見していただく写真展

【連携団体】大阪府立中之島図書館

- 中之島図書館での御堂筋の街並み写真展に先立ち、御堂筋をテーマとしたフォトコンテストを開催しました。
- 写真展初日には、事業推進委員会アドバイザーを担っていただいている、写真家で大阪芸術大学教授の織作先生、大阪府立大学教授の橋爪先生によるコンテストの講評と、トークショーを開催しました。



フォトコンテスト授賞式

地域とのあゆみ展

人びとの生活の関わりを歴史的、文化的側面からパネルで紹介

【連携団体】大阪・光の饗宴実行委員会

生きた建築ミュージアム大阪実行委員会

- 御堂筋を中心とした大阪の道や地域に現存する近代建築のパネル、そして完成当時の街並みや人々と御堂筋の関わりなどをうかがい知ることができる貴重な写真を通じて、道と生活の関わりを歴史的、文化的側面で紹介しました。
- 併設した記念撮影用の3代目大阪市庁舎パネルは、来訪された方々の目を奪っていました。



地域とのあゆみ展会場風景

取組み経過と参加者数 ()内は参加者概数

平成29年 4～7月

8月

9月

シンポジウム

●5/11春のシンポジウム(565)

●8/29夏のシンポジウム(200)

ワークショップ

●4/18人中心の道路づくりWS(45) ●7/26人中心の道路づくりWS-神戸視察(30)

●6/30安全で楽しい自転車利用WS-第1回(108)

●8/31地下空間の利活用WS-地下空間見学会(18)

●7/21道路における公民連携WS-第1回(51)

世界に誇るイチョウ並木の育成9/12●
-御堂筋のイチョウ並木の未来を考えるパネルディスカッション(150)

●8/29水の都・大阪WS-水辺体験イベント(23)

水の都・大阪WS-水辺のソーシャルデザイン検討会(69)9/25●



水の都・大阪WS
水辺のソーシャルデザイン検討会

御堂筋の未来をビジュアル化する社会実験

御堂筋を華やかに演出する取組み

●5/11御堂筋パースデーイベント

●8/15～28道路における公民連携(パネル展)大阪役所

●6/21～7/5御堂筋・大阪港を描こう展

●9/8第5回全国まちなか広場研究会in大阪

水の都・大阪WS-とんぼりリバーウォーク写真・絵画展9/8～9/24●

●9/22
近畿地方整備局・
京阪神3都市
道路連携会議



御堂筋・大阪港を描こう展



御堂筋バースデーイベント

御堂筋完成80周年を市民の皆さまとともに祝い

【連携団体】 船場倶楽部／北船場くらぶ／船場げんきの会
(一社)関西ミュージックリンク協会
セントレジスホテル大阪／大阪ワイナリー協会
大阪市立扇町総合高等学校

- 春のシンポジウム後、大阪市役所正面玄関前において、御堂筋完成80周年を「御堂筋バースデー」と題して市民の皆さまとともにお祝いしました。



劇団「ギンギラ太陽's」によるオリジナルパフォーマンス

御堂筋コンテナガーデン

公が設置し、民が維持管理をする取組み

【連携団体】(一社)御堂筋まちづくりネットワーク

- 御堂筋完成80周年記念事業として彫刻を彩る「御堂筋コンテナガーデン」を公民の連携により彫刻脇に整備・管理していくことで、芸術・文化的要素を備えた御堂筋の上質なにぎわいのまちなみにふさわしい空間を演出します。

※コンテナガーデン：植木鉢やプランターなどのコンテナ（容器）に、草花や植木、観葉植物を植え飾ること。



彫刻脇に植えられた草花

80周年記念事業バナーフラッグの掲出

現地から80周年記念を発信・機運を向上

- 御堂筋現地から80周年記念を発信、そして機運の向上を目的として、事業ロゴを上半分に入れたバナーフラッグを掲出しました。下半分は、事業を進めていくための協賛金を調達するバナー広告を掲載しています。
- ロゴマーク及びバナーフラッグのデザインは87の応募作品の中から最優秀作品として選定されたものです。



80周年記念バナー

草花による演出

御堂筋に花の彩りを演出する寄せ植え

【連携団体】修成建設専門学校ガーデンデザイン学科

- 淀屋橋、久太郎町3、新橋交差点の主要交差点にある6か所の中央分離帯において、修成建設専門学校の協力のもと花苗の寄せ植えを行い、御堂筋に花の彩りを演出しています。
- 寄せ植えのデザインは、ガーデンデザイン学科の1年生によるものです。



分離帯に配された寄せ植え

10月

11月

12月～

●11/20秋のシンポジウム(302)

●4/6民間主催による御堂筋シンポジウム2018

●10/4地下空間の利活用WS
-公共施設における新技術活用WS(60)

●11/12安全で楽しい自転車利用WS-第2回(100)

●10/20人中心の道路づくりWS-京都視察(30)

●12/8世界に誇るイチョウ並木の育成WS
-「御堂筋の銀杏配布とイチョウラリー」(400)

●3/2道路における公民連携WS-第2回(42)



●11/5～20御堂筋チャレンジ

●11/12御堂筋オータムパーティー2017

●11/20～翌年5/21(仮称)御堂筋パークレット社会実験

●9月～草花による演出

●11/6イケフェスとの連携イベント「船で巡る道頓堀川・東横堀川ツアー」

●9/11～22道路における公民連携WS(パネル展)北区役所 ●11/11イケフェスとの連携イベント「地下空間見学会-大阪駅前の東西地下道工事現場」(50)

●9/25～10/6道路における公民連携WS(パネル展)中央区役所 ●11/13イケフェスとの連携イベント「光のまちづくり鑑賞ツアー」

●10/10～20道路における公民連携WS(パネル展)浪速区役所

●10/2～4地下空間の利活用WS-パネル展

●10/27～水の都・大阪WS-とんぼりパーウォークパネル展

●12/1～27御堂筋の街並み写真展

●12/1御堂筋の街並み写真展-授賞式、トークショーの開催

●12/14～25地域とのあゆみ展

●12/22彫刻を彩る「御堂筋コンテナガーデン」(設置)

●2/24～3/11道路における公民連携WS
(パネル展)淀屋橋odonaアイ・スポット

●3/23メルボルン市との姉妹ストリート協定締結
(御堂筋・スワンストリート)

(5) 推進体制

①御堂筋完成80周年記念事業 推進委員会

平成30年3月31日現在（敬称略）

記念事業を推し進め成功に導いていくために、各種団体や行政が一体となり、事業の具体的な内容等を検討する場として御堂筋完成80周年記念事業推進委員会を設立しました。



推進委員会 開催概要

第1回〔日時〕平成28年11月24日(木)
16:30～17:30
〔場所〕大阪市役所
7階 市会第3委員会室

第2回〔日時〕平成29年3月24日(金)
10:00～12:00
〔場所〕大阪市中央公会堂
6・7・8会議室

第3回〔日時〕平成30年3月30日(金)
15:30～17:00
〔場所〕大阪市役所
屋上階P1共通会議室

所属機関・団体名		氏 名
(委員長)	大阪市	市長 吉村 洋文
(副委員長)	大阪市	副市長 田中 清剛
(委 員)	国土交通省近畿地方整備局	局長 池田 豊人
	大阪市北区役所	区長 上野 信子
	大阪市中央区役所	区長 田端 尚伸 (H29.4～)
		柏木 陸照 (H28.11～H29.3)
	大阪市浪速区役所	区長 榑 正文 (H29.4～)
		玉置 賢司 (H28.11～H29.3)
	大阪市経済戦略局	局長 柏木 陸照 (H29.4～)
		井上 雅之 (H28.11～H29.3)
	大阪市都市計画局	局長 川田 均
	大阪市建設局	局長 永井 文博
	大阪商工会議所	会頭 尾崎 裕
	(公社)関西経済連合会	専務理事 関 総一郎 (H29.9～)
		松村 孝夫 (H28.11～H29.8)
		鈴木 博之 (H29.7～)
	(一社)関西経済同友会	代表幹事 蔭山 秀一 (H28.11～H29.6)
(アドバイザー)	(公財)大阪観光局	理事長 溝畑 宏
	NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会	理事長 成松 孝
	(一社)御堂筋まちづくりネットワーク	代表理事 宮川 正
	ミナミまち育てネットワーク	会長 山中 諄
	(一財)都市技術センター	理事長 西尾 誠
	大阪府立大学研究推進機構	教授 橋爪 紳也
	大阪市立大学大学院工学研究科	教授 嘉名 光市
	大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所	主席研究員 栗本 智代
	写真家・大阪芸術大学写真学科	教授 織作 峰子
	(事務局)	城居 宏 (H29.4～)
		上田 正敏 (H28.11～H29.3)
		川村 幸男 (H29.4～)
		渡瀬 誠 (H28.11～H29.3)
	大阪市建設局	理事
	大阪市建設局道路部	部長
		道路課長 生嶋 圭二
		橋梁課長 平野 みゆき

②御堂筋完成80周年記念事業 実行委員会

平成30年3月31日現在（敬称略）

実行委員会 開催月日

第1回 平成28年12月27日(火)
第2回 平成29年2月27日(月)
第3回 平成29年7月5日(水)
第4回 平成29年11月13日(月)
第5回 平成30年2月22日(木)

所属機関・団体名		氏 名
(リーダー)	大阪市	副市長 田中 清剛
(委員団体名) 国土交通省近畿地方整備局／大阪市北区役所／大阪市中央区役所 大阪市浪速区役所／大阪市経済戦略局／大阪市都市計画局 大阪市建設局／(公財)大阪観光局／NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 (一社)御堂筋まちづくりネットワーク／ミナミまち育てネットワーク 大阪ガス(株)／関西電力(株)／西日本電信電話(株)／大阪地下街(株) クリスタ長堀(株)／大阪市交通局／大阪市水道局／(一財)都市技術センター (株)インブリージョン／(株)ワイキューブ ラボ		
(事務局)	大阪市建設局道路部	

この御堂筋将来ビジョンは、車中心から、人中心のストリートへの転換をフルモール化というかたちで示すとともに、フルモール化された空間で展開されるシーン、実現に向けたプロセスを公民連携により取りまとめたものです。

御堂筋は、まちを変えていく力を持っています。関西都市圏・大阪の活性化、都心部の価値向上を促すことができる御堂筋をめざすべく、公民で理想の姿を共有し、一体となってビジョンの実現化に取り組むことが求められます。

引き続き、理想の御堂筋づくりを進めてまいりたいと存じますので、今後一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ」
～まちとつながり、人がつながっていく新たな価値を創出する空間へ～



上記は、御堂筋オータムパーティー2017で
今後の御堂筋に向けたメッセージをいただいた際に撮影した写真です。

Vision for MIDO-SUJI 100 Anniversary

御堂筋 将来ビジョン

発行：平成30年7月 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

(事務局)

大阪市建設局道路部道路課

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟6階 TEL:06-6615-6786